

成人用肺炎球菌ワクチンの選択について

(2018年度改訂)

肺炎球菌は肺炎の原因となる細菌として最も重要なものです。
肺炎球菌には90種類以上の型がありますが、病気になる型はワクチンで大部分が予防できます。

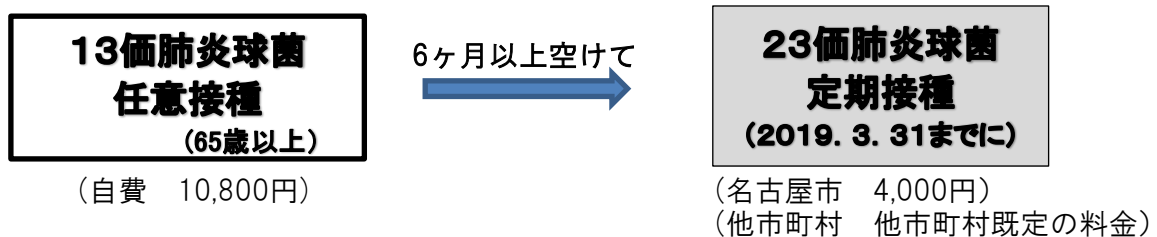
2種類のタイプがあり、それぞれの特徴があります。

23価肺炎球菌ワクチン（ニューモバックス）	13価肺炎球菌ワクチン（プレベナー）
<ul style="list-style-type: none">● 23種類の型に対応（約2/3をカバーしている）● 定期接種として接種することができる（定期接種対象者以外は任意接種となる）● 免疫記憶は付きにくい	<ul style="list-style-type: none">● 13種類の型に対応（約1/2をカバーしている）● 定期接種としては接種できない 65歳以上の方に任意接種できる● 免疫記憶が付きやすい

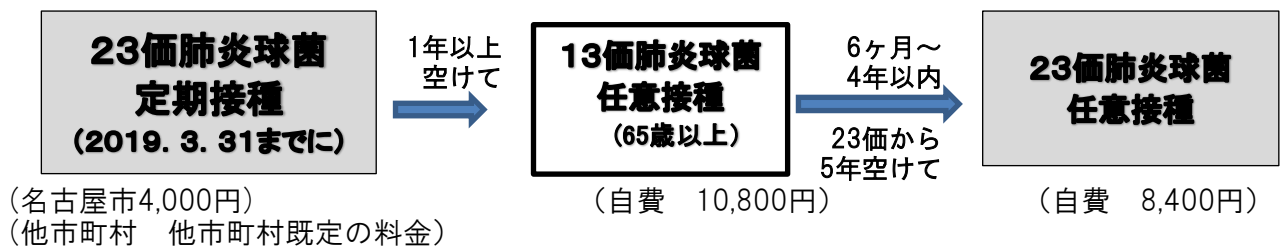
それぞれの長所、短所があるため、2種類のワクチンを組み合わせて接種されることをお勧めします。以下がお勧めの接種方法です。

●初めての肺炎球菌ワクチン接種の方

方法① 今年度定期接種または名古屋市の助成で接種できる方
今年度8月中旬ぐらいまでに初回接種できる方にお勧めです。

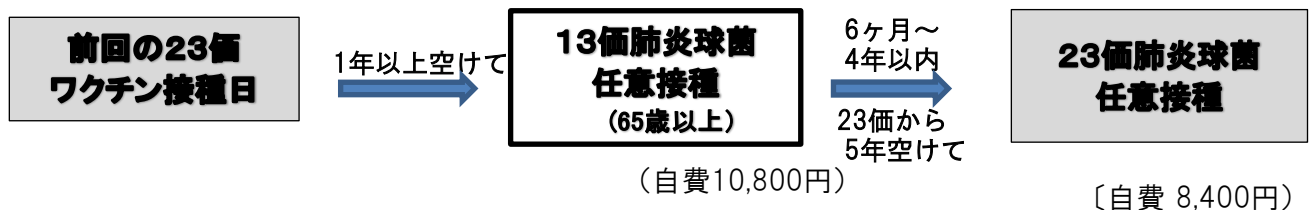


方法② 今年度定期接種または名古屋市の助成で接種できるが
①の方法で接種できない方にお勧めです。



※定期接種対象外の方は任意接種として自費で、上記①または②の方法で接種できます。

●既に23価肺炎球菌ワクチンを接種したことのある方



インフルエンザで起こる肺炎の6～7割は肺炎球菌によるものといわれています。
インフルエンザワクチン接種時には一緒に肺炎球菌ワクチンもご考慮ください。肺炎予防に有効です。
ご不明な点がございましたら、スタッフにお気軽にご相談ください。